

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2025年1-3月期（概要版）〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は247社から回答があった。景況判断DIは▲12となり、前期調査から4ポイント悪化した。来期の見通しは▲20となり、8ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点の回答割合は、「従業員の不足」が最も高く、次いで「修理、修繕費等の増加」、「人件費の増加」の順となっている。

以下、その他業況感DIの内訳

前期(2024年10-12月)に対して、

- ・売上高DIは▲15で、28ポイント悪化
- ・処理量DIは▲21で、33ポイント悪化
- ・営業利益DIは▲12で、14ポイント悪化
- ・資金繰りDIは▲2で、2ポイント悪化
- ・借入難易度DIは9で、1ポイント悪化
- ・設備投資DIは6で、3ポイント悪化
- ・従業員数DIは▲3で、5ポイント悪化
- ・契約単価DIは、収集運搬が6で、3ポイント悪化
処分が7で、2ポイント悪化

○ 売上高の動向については、前年同期比で11.5%増となった。

○ 処理量の動向については、前年同期比で2.0%増となった。

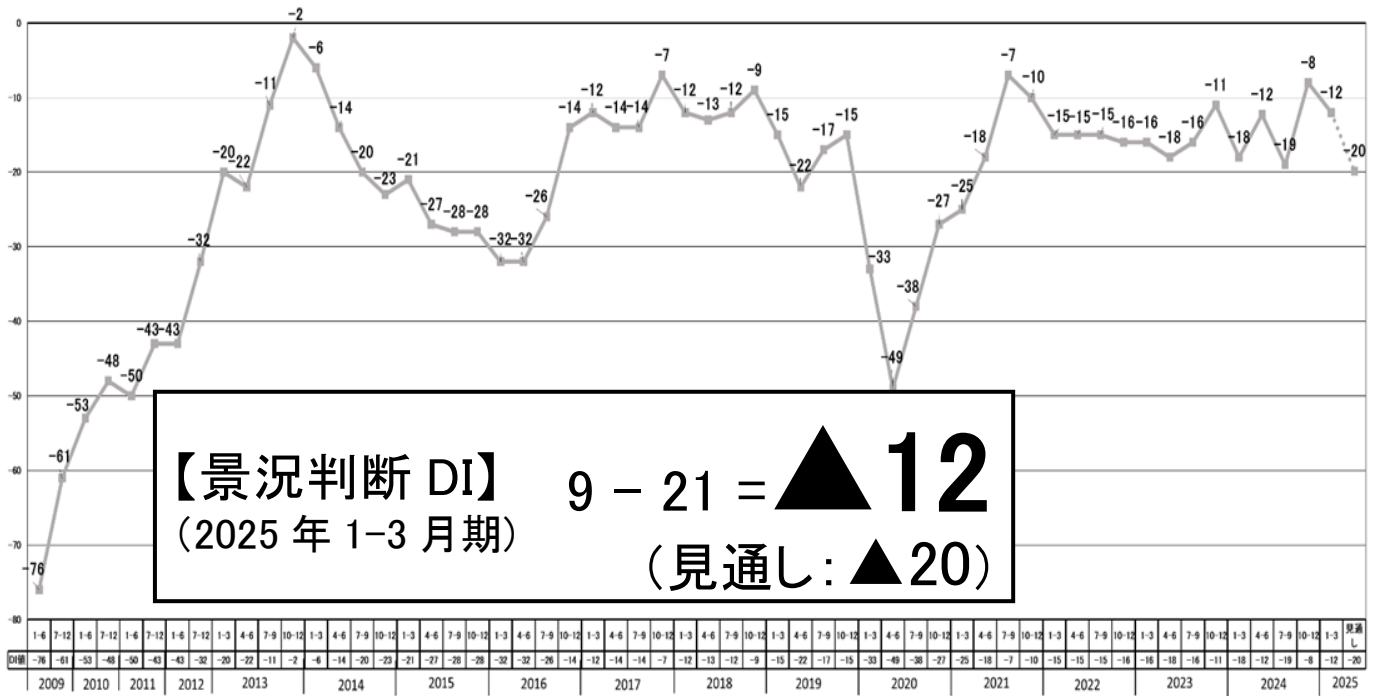
○ 経常利益率については、前年同期比で0.4%減となった。

※DIとはディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で「好転」・「増加」したなどとする企業割合から「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

〔調査の要領〕

- 全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員
- 調査の方法:Webによるアンケート
- 調査期間:2025年4月1日～4月30日
- 回答企業数:247社

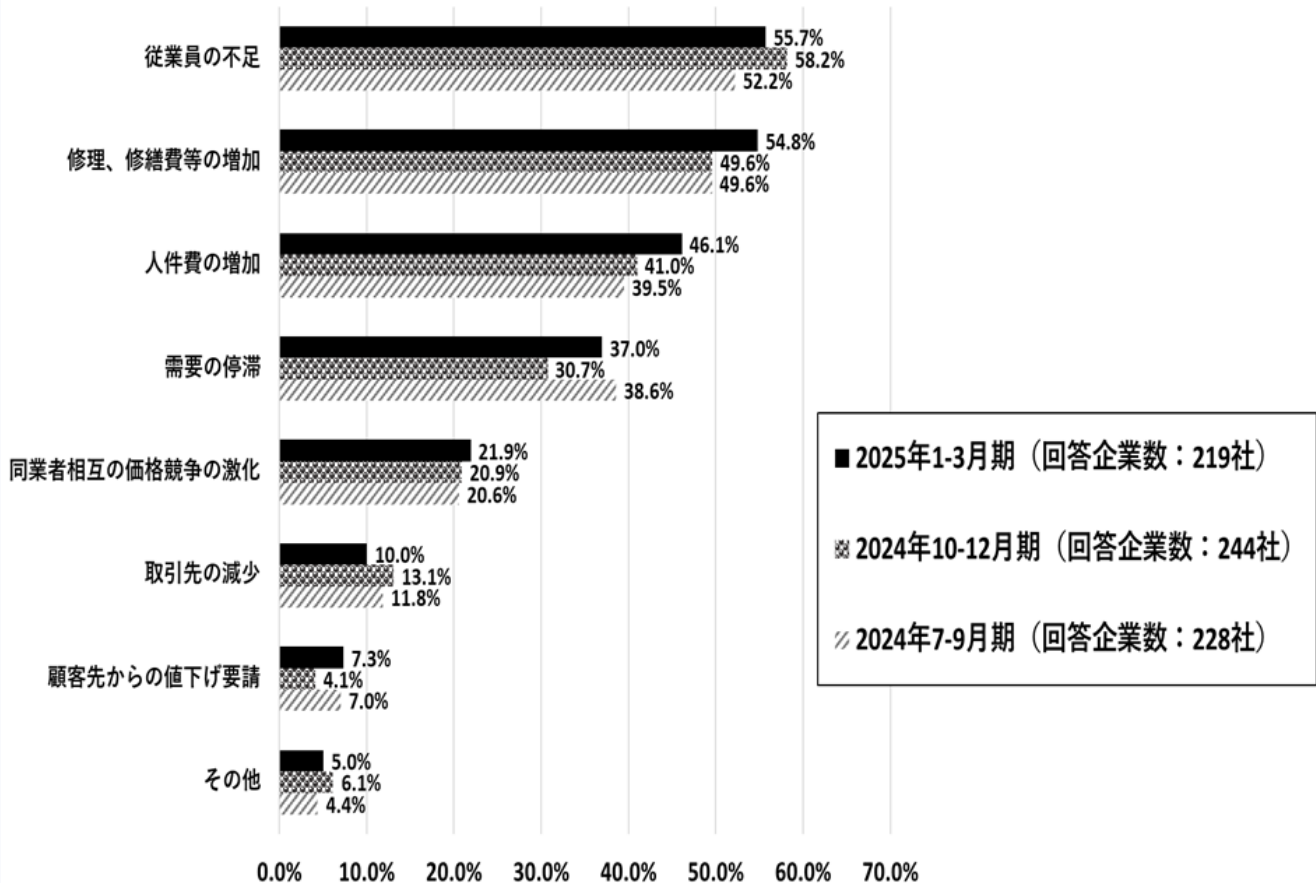
景況判断DI(2009年1-6月期～2025年1-3月期と見通し)



【景況判断 DI】 9 - 21 = ▲12
 (2025年1-3月期) (見通し: ▲20)

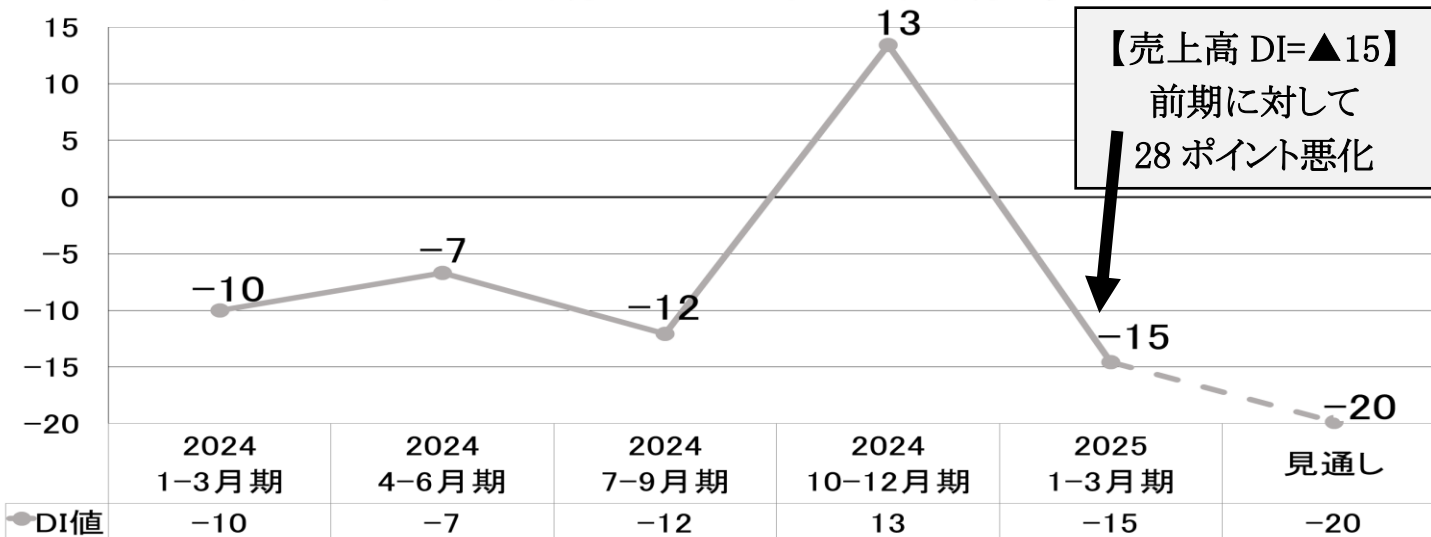
経営上の問題点(複数回答可)

<2025年1-3月期 (回答企業数: 219社) >



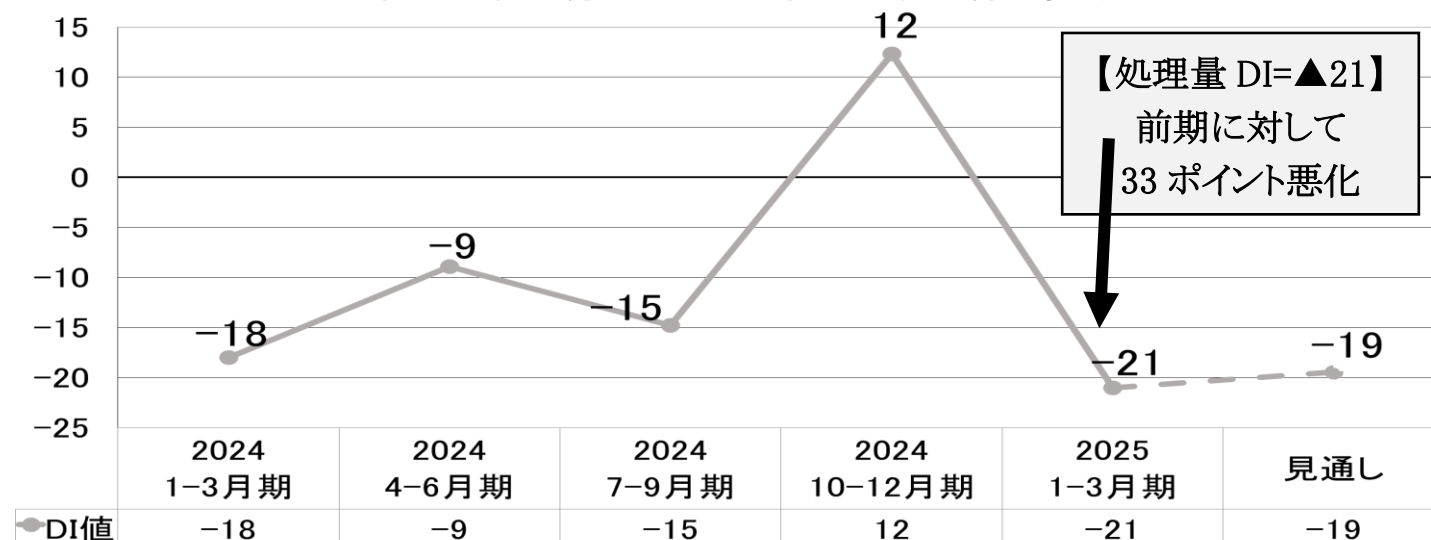
売上高DI

(2024年1-3月期～2025年1-3月期と見通し)



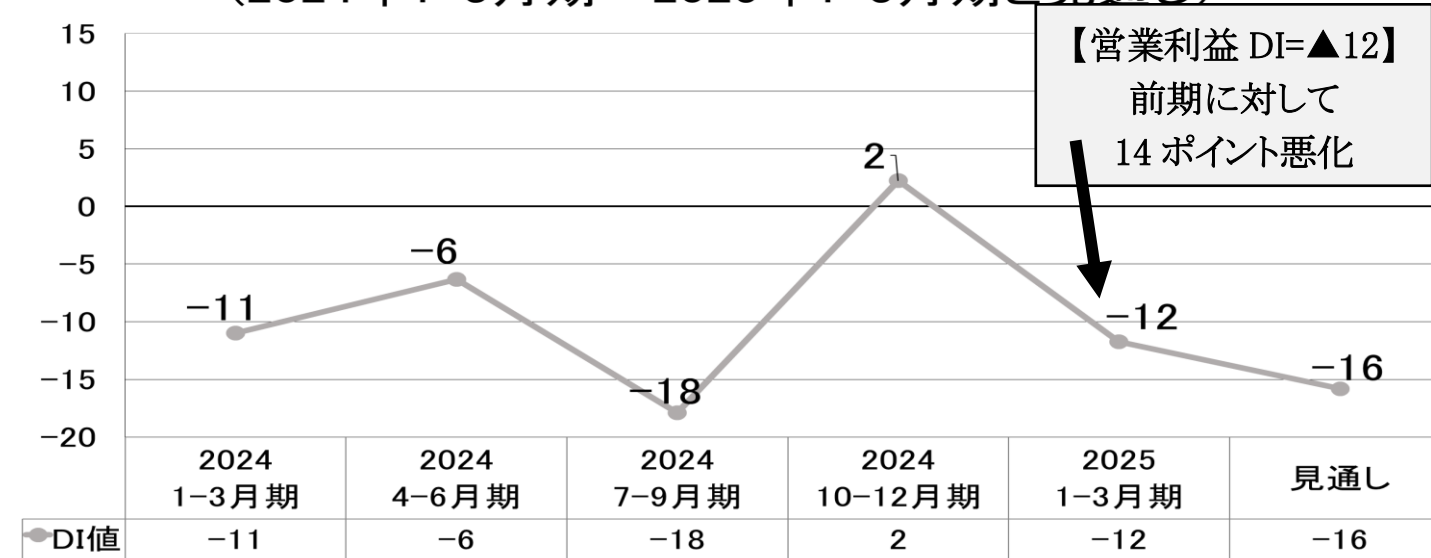
処理量DI

(2024年1-3月期～2025年1-3月期と見通し)



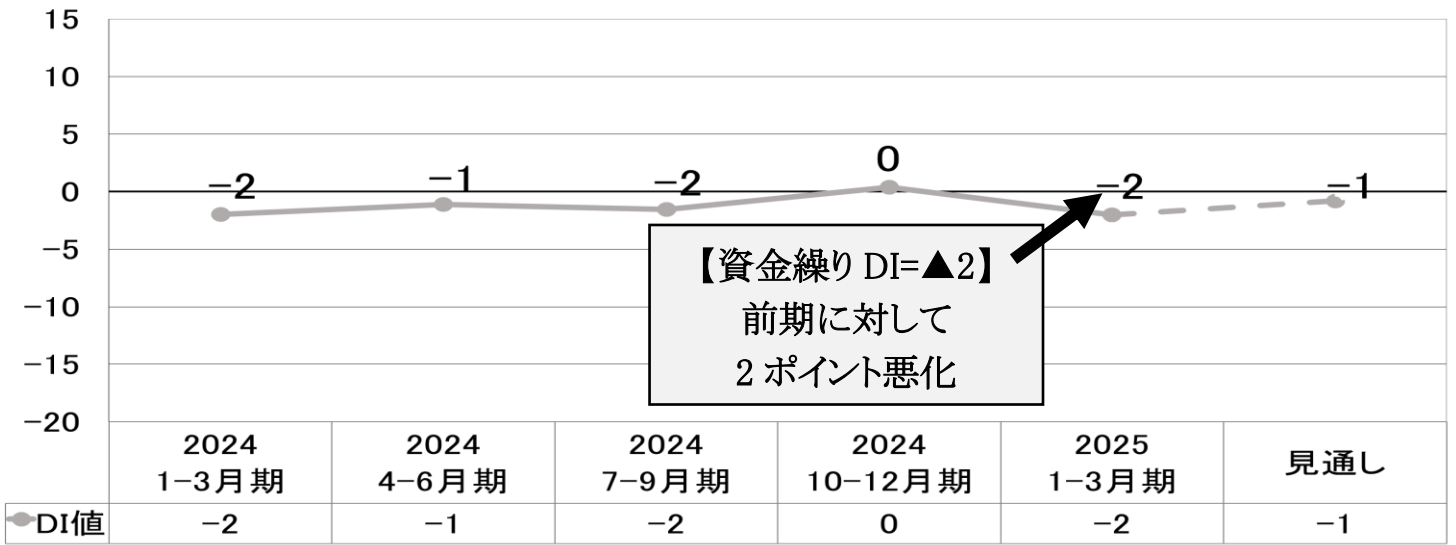
営業利益DI

(2024年1-3月期～2025年1-3月期と見通し)



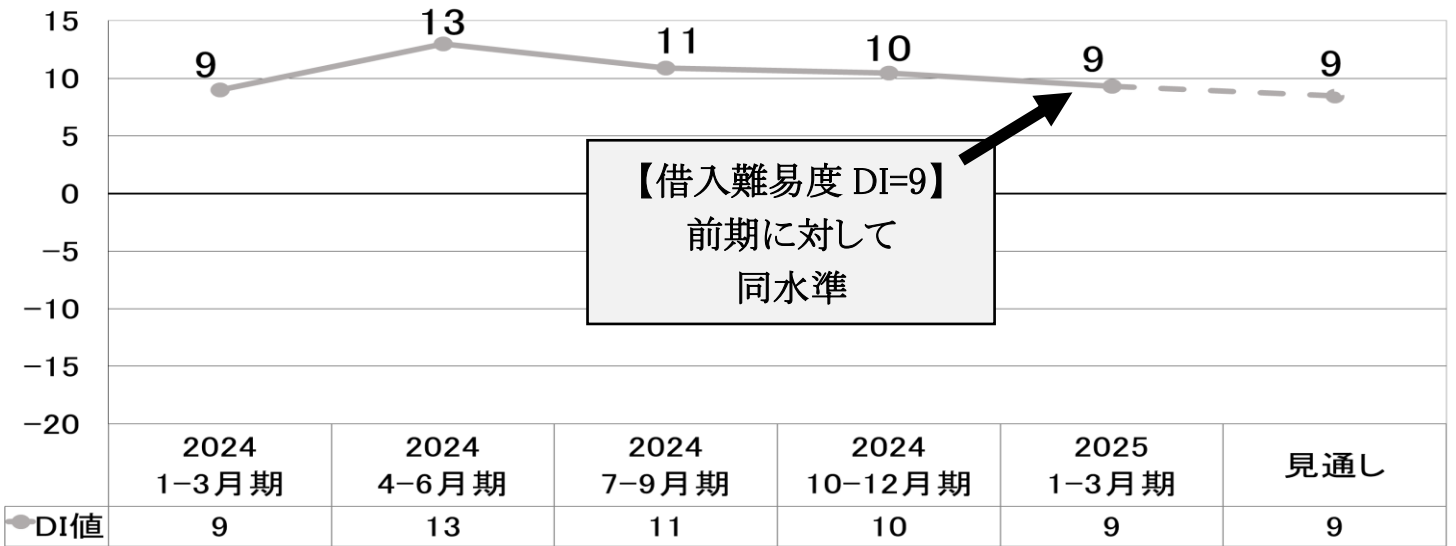
資金繰りDI

(2024年1-3月期～2025年1-3月期と見通し)



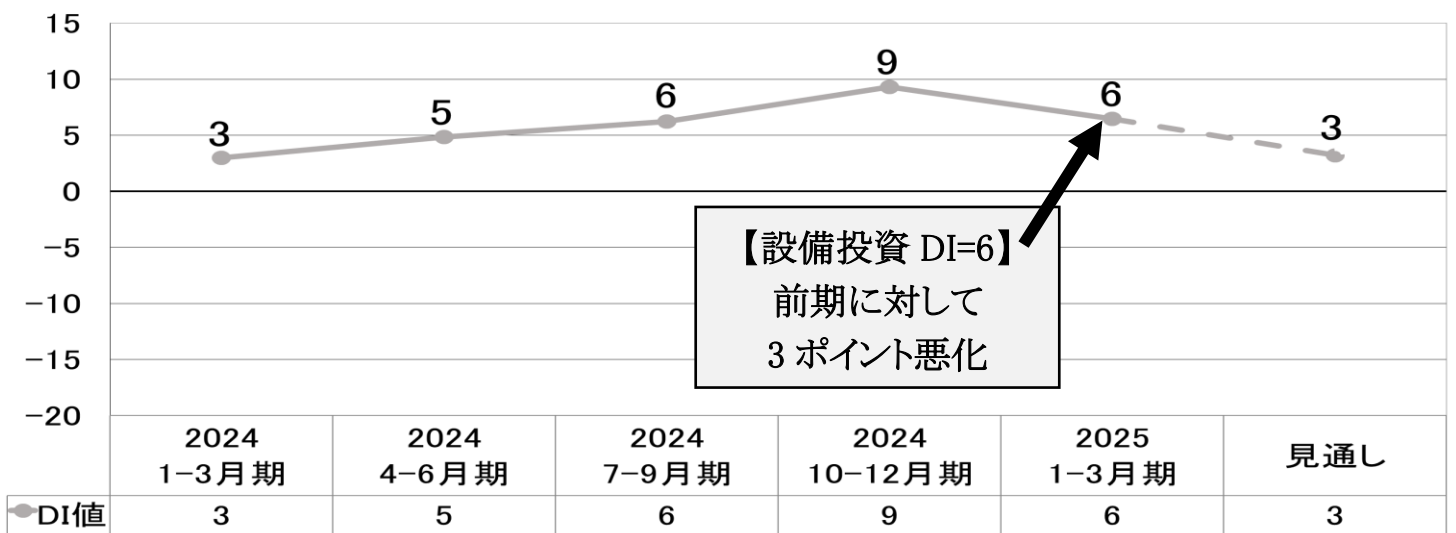
借入難易度DI

(2024年1-3月期～2025年1-3月期と見通し)

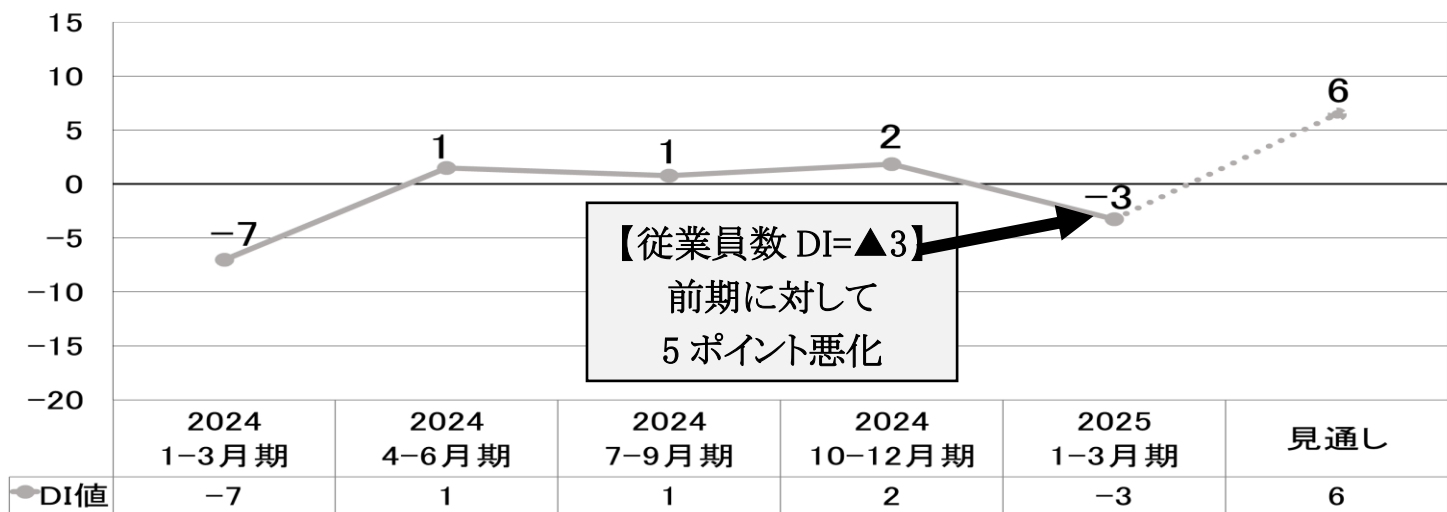


設備投資DI

(2024年1-3月期～2025年1-3月期と見通し)



従業員数DI (2024年1-3月期～2025年1-3月期と見通し)



【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】

